

---

**User's  
Manual**

**DL950/SL2000  
ファイルユーティリティ  
ユーザーズマニュアル**

---

---

## はじめに

このユーザーズマニュアルは、DL950/SL2000 ファイルユーティリティソフトウェアの取り扱い上の注意 / 機能 / 仕様などについて説明したものです。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、ご使用時にすぐにご覧になれるところに、大切に保存してください。ご使用中に操作がわからなくなったときなどにきつとお役に立ちます。

なお、DL950/SL2000 シリーズの取り扱い上の注意 / 機能 / 操作方法、Windows の取り扱い / 操作方法などについては、それぞれのマニュアルをご覧ください。

## ご注意

- ・ 性能・機能の向上などにより、本書の内容を予告なしに変更することがあります。最新のマニュアルは、当社 Web サイトでご確認ください。
- ・ 本書に記載の画面表示内容は実際のもので多少異なることがあります。
- ・ 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、お買い求め先か、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- ・ 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

## 商標

- ・ Microsoft、Windows、Windows 10、および Windows 11 は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe、Acrobat は、Adobe Inc.(アドビ社)の登録商標または商標です。
- ・ 本文中の各社の登録商標または商標には、®、TM マークは表示していません。
- ・ その他、本文中に使われている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 履歴

2026 年 2 月 初版発行

---

# ご使用にあたっての注意

## 使用上の注意

本ソフトウェアは、DL950/SL2000 のファイルユーティリティ機能のソフトウェアです。他の製品には使用できません。

## 免責事項

当社は、お客様が本ソフトウェアをダウンロードしインストールされた時点で、下記の免責事項を許諾いただいたものとみなします。

- 本ソフトウェアをダウンロードしインストールすることによって生じるいかなる問題についても、当社はその責務を負いません。
- 本ソフトウェアの使用に関して、直接または間接に生じるいっさいの損害について、当社はその責務を負いません。
- 本ソフトウェアは無償で提供されますが、本製品になんの欠陥もないという無制限の保証をするものではありません。また、本ソフトウェアに関する不具合修正や質問についてのお問い合わせをお受けできない場合があります。
- 本ソフトウェアに関する財産権、所有権、知的財産権、その他一切の権限は、当社に帰属します。

---

# 目次

	ご使用にあたっての注意.....	ii
<b>第 1 章</b>	<b>ソフトウェア概要</b>	
	1.1 ソフトウェア概要.....	1-1
<b>第 2 章</b>	<b>ファイルユーティリティ概要</b>	
	2.1 ファイルユーティリティ概要 .....	2-1
	2.2 ファイルユーティリティの起動 / 終了 .....	2-2
	2.3 ファイル結合 .....	2-3
	2.4 ファイナライズ.....	2-4
	2.5 マニュアルの表示.....	2-5
	2.6 バージョン確認.....	2-6
<b>付録</b>		
	付録 1 エラーメッセージ一覧 .....	付-1

## 1.1 ソフトウェア概要

### 概要

本ソフトウェアは、DL950/SL2000 のリアルタイム SSD 記録で測定中に電源が落ちたなどの異常が発生したときに、記録中の波形データファイルが正常に保存終了せず波形データファイルを開くことができなくなった、波形データファイルを開けるようにするための機能を提供します。

また、フリーランモードで DL950/SL2000 本体に記録された波形データファイルを単一のファイルに結合し保存する機能、および解析を高速化させるための付加データつける機能を提供します。

### 機能

本ソフトウェアを利用して、以下の機能を実現することができます。

- ファイル結合（連続して保存されたフリーランのファイルを1つに結合）
- ファイナライズ（リアルタイム SSD 記録の波形データファイルの復旧。フリーラン記録の波形データファイルの高速化）

### システム条件

以下の条件を有したパーソナルコンピュータの動作環境が必要です。

- OS（オペレーティングシステム）  
Windows10、Windows11 の日本語版、または英語版
- メモリー 8GB 以上

## 2.1 ファイルユーティリティ概要

本ソフトウェアは、DL950/SL2000 で保存した波形データファイルに対して以下の機能を提供します。

### ファイル結合機能

- ・ フリーラン記録で保存された連続したファイルを1つのファイルにする機能
- ・ 結合ファイルが2GBを超える場合は、2GB単位の複数のファイル、もしくは2GB以上の単一のファイルで保存するかを選択できる機能

### 対象ファイル

フリーラン記録で、本体に保存した連続した波形データファイル

### ファイル名

結合する先頭のファイル名の通し番号(\_000)の前に「m」が挿入されたファイル名か、指定したファイル名で保存されます。

### ファイナライズ機能

- ・ SSD記録中に電源断などの異常で、正常に波形データファイルの保存が終了しなかったときに、IS8000などのビューワーソフトで開けるようにするための復旧機能
- ・ フリーラン記録で保存した波形データファイルをIS8000などのビューワーソフトで解析するときに、高速で開けるようにするための付加データをつける機能

### 対象ファイル

- ・ SSD記録で終了処理されていない波形データファイル
- ・ フリーラン記録で保存した波形データファイル

以下のファイルはファイナライズの対象外となります。

- ・ デュアルキャプチャで保存した波形データファイル
- ・ トリガ測定で保存した波形データファイル

### ファイル名

元ファイル名と同じファイル名で上書きするか、元ファイルのあるフォルダの下に作成されるFinalizeフォルダに、同一名で保存されます

## 2.2 ファイルユーティリティの起動 / 終了

### ファイルユーティリティの起動

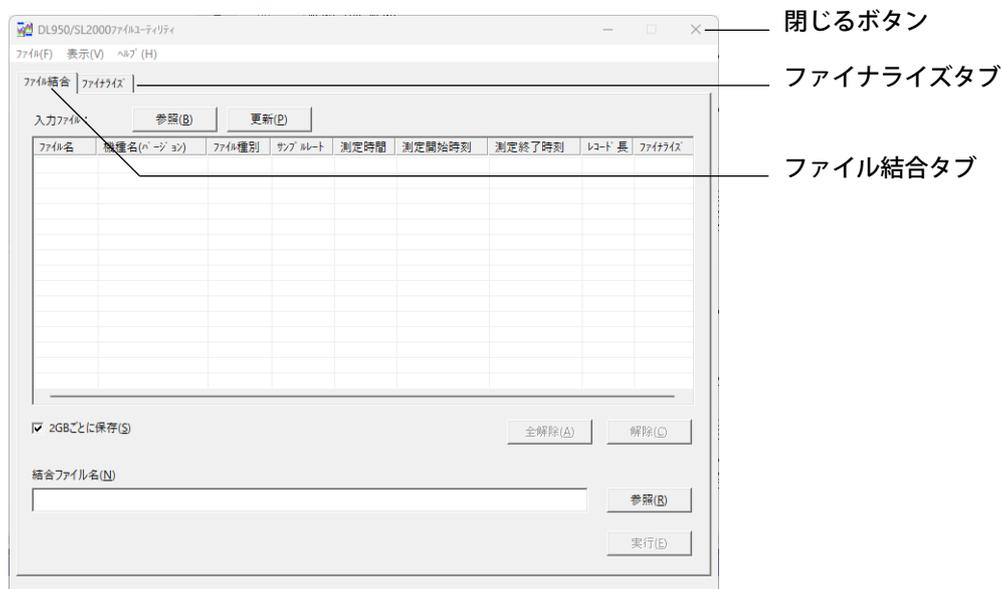
以下のいずれかの方法で、ソフトウェアを起動します。

- ・ Windows のスタートメニュー > YOKOGAWA フォルダ内の、「DL950 SL2000 FileUtility」をクリックします。
- ・ デスクトップ上の、「DL950 SL2000 FileUtility」のショートカットアイコンをダブルクリックします。



ショートカットアイコン

起動すると以下の画面が表示されます。

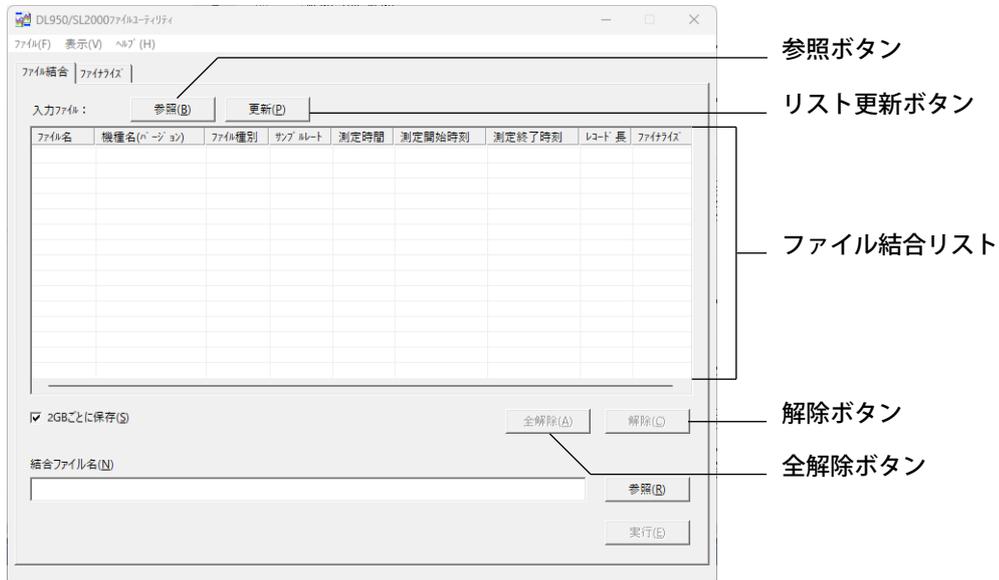


### ファイルユーティリティの終了

ファイルユーティリティ画面右上の[閉じる]ボタンをクリックするか、ファイルユーティリティのツールメニューから、[ファイル]>[アプリケーションの終了]を選択します。ファイルユーティリティが終了します。

## 2.3 ファイル結合

1. ファイルユーティリティを起動した状態で、[ファイル結合] タブをクリックします。



2. ファイルの分割保存  
結合したファイルが 2 GB 以上のときに、分割して保存する場合は、[2GB ごとに保存] チェックボックスをチェックします。
3. ファイルリストへの登録  
入力ファイルの [参照] ボタンを押してファイルを選択するか、ファイルを直接ファイルユーティリティ画面のファイルリスト表示部分にドラッグします。選択したファイルがファイルリストに表示されます。  
リストからファイルを削除する場合は、削除するファイルをクリックして反転表示して、[解除] ボタンをクリックするか、Delete キーを押します。すべてのファイルを削除する場合は、[全解除] ボタンをクリックします。
4. 結合ファイルの保存先の設定  
結合ファイル名の [参照] ボタンを押して、結合ファイルの保存ファイル名を指定します。  
結合ファイル名を指定しない場合は、結合する先頭ファイルと同じフォルダの先頭ファイル名の通し番号 (\_000) の前に「m」が挿入されたファイル名で保存されます。
5. 対象ファイルの選択  
ファイル結合する対象ファイルは、ファイルリスト上の反転表示されているファイルです。  
ファイル結合する対象ファイルをクリックして、選択します。Shift キーを押しながらファイルをクリックすると、連続した複数のファイルを選択できます。Ctrl キーを押しながらファイルをクリックすると、任意の複数のファイルを選択できます。
6. 変換の実行  
[実行] ボタンをクリックします。ファイルリスト上の反転表示されたファイルがファイル結合されます。



---

## 2.5 マニュアルの表示

ファイルユーティリティを起動した状態で、ツールメニューから、[ヘルプ]>[マニュアル]を選択します。本ソフトウェアのマニュアルが表示されます。

### **Note**

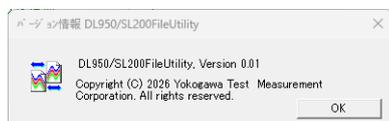
---

PDF データを閲覧するには、Adobe Acrobat Reader など、PDF データを閲覧できるソフトウェアが必要です。

---

## 2.6 バージョン確認

ファイルユーティリティを起動した状態で、ツールメニューから、[ヘルプ]>[バージョン情報]を選択します。本ソフトウェアのバージョンが表示されます。



## 付録 1 エラーメッセージ一覧

使用中に画面にメッセージが表示されることがあります。その発生要因を説明しています。

発生要因	日本語メッセージ	英語メッセージ
ファイル結合時に結合するファイルの条件が異なる場合やトリガモードのファイルを選択した場合のとき	フリーラン記録以外で保存されたファイルは結合できません。測定条件を確認してください。	Files saved other than free run recording cannot be merged. Please check the measurement conditions.
ファイナライズ済みのファイルをファイナライズしようとしたとき	すでにファイナライズされたファイルです。	This file already finalized.
ファイナライズ時にトリガモードのファイルを選択したとき	トリガ測定されたファイルのため、ファイナライズできません。SSD 記録された波形データファイルを選択してください。	This file was measured using trigger mode and cannot be finalized. Please select a waveform data file recorded by SSD recording.
ファイル結合時に 1000 ファイル以上選択しているとき	結合ファイル数が 1000 個を超えています。ファイル数は 1000 個以下にしてください。	The number of files to be merged exceeds 1000. Limit the number of files to 1000 or less.
測定時間が連続していないファイルを結合しようとしたとき	測定時刻が連続していません。測定時刻が連続したファイルを選択してください。	The measurement times are not continuous. Please select files with continuous measurement times.
サンプルレートが異なるファイルを結合しようとしたとき	サンプルレートが不一致です。サンプルレートが一致するファイルを選択してください。	Different sample rate. Select files measured on the same sample rate.
外部クロックと内部クロックで測定されたファイルを結合しようとしたとき	外部クロックと内部クロックのファイルが混在しています。同一クロックソースのファイルを選択してください。	Files with external and internal clock sources are mixed. Please select files with the same clock source.
デュアルキャプチャのファイルを選択したとき	デュアルキャプチャで測定されたファイルは操作できません。	Cannot operate files measured in Dual Capture mode.
他機種 of ファイルを選択したとき	DL950 もしくは SL2000 以外で作成されたファイルです。	This file was measured by a device other than the DL950 or SL2000.
ファイナライズで上書き保存しようとしたファイルを IS8000 や他のアプリで開いていたとき	このファイルは読み取り専用です。	This file is read-only and cannot be modified.